

平成26年 2月24日

福島県知事

佐藤 雄平 様

緊急要望書

福島県議会 民主・県民連合議員会

会長 宗方 保

東京電力福島第一原子力発電所汚染水タンク

高濃度汚染水漏れに対する緊急要望書

平成26年2月20日（木）に、東京電力福島第一原発のタンクから大量の汚染水漏れ事故により、重大な事態が発生した。1リットルあたり2億4000万ベクレルもの超高濃度の放射性ストロンチウムが含まれる汚染水は約100トンにも及び、県民を不安に落とし入れ影響は計り知れない。

また、今回の事故について東京電力は当初、機器の故障などと発表していたが、その後の調査で人為的ミスの可能性を示唆するなど、発表が2転3転し、東京電力に対する県民の信頼を著しく損なう事となった。

よって県においては、東京電力に対し、県民の信頼回復に努めるとともに、早期の原因究明と再発防止に万全の対応を図るよう、下記の通り強く要望する。

記

1. 被害状況の早期把握と、漏えいした汚染水と汚染土壌の早期回収に努めること
2. 正確な情報収集と発信に努めること
3. 作業員に被爆者が出ることがないように被爆防止に万全を期すこと
4. ヒューマンエラーの防止に努めること
5. 汚染水の移送手順のマニュアル化の徹底と自動停止装置の導入
6. フランジ型タンクの溶接型タンクへの早期取替えの実施